

厳島御室会館落慶記念第一弾

絵巻に残された
歴史を知る
鳥羽伏見の戦い
と錦の御旗
in 宮島

講演師・神田京子

2025 1/25 [土]

開場 13:30

開演 14:00 (15:00 終了予定)

大聖院 厳島御室会館

[前売り券] 2,000円 [当日券] 3,000円

(前日午前0時まで購入可 / 代金は当日現金にてお支払いください)

チケット申し込み
お問い合わせ

大聖院 寺務所
0829-44-0111



協力 文化庁「Living History (生きた歴史体感プログラム)」促進事業、(一社)先端イメージング工学研究所、(株)アートリサーチ

大聖院
MITSUHA MISEN DAISHO-IN

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

AITReC

絵巻に残された歴史を知る 鳥羽伏見の戦いと錦の御旗 in 宮島

当院でも昨年から取り組んでいる高精細画像を駆使した文化財保護事業。その一環として仁和寺の「鳥羽伏見の戦い」の絵巻を借用し、神田京子先生による鳥羽伏見の戦いの歴史を学ぶ講談を実施致します。宮島と京都仁和寺の関係、そして大聖院の本山である仁和寺の錦の御旗の真相についてもお話頂きます。

時は慶応四年一月の京都
錦の御旗が翻るなか、
仁和寺宮は出陣した。
講談師神田京子が
仁和寺とゆかりの深い
宮島・大聖院で
激動の幕末維新の歴史を
絵巻とともに語ります

日時

2025年1月25日(土)

開場▶13:30 開演▶14:00 15:00終了予定

場所

大聖院 厳島御室会館
(広島県廿日市市宮島町210)

参加費

前売り券:2,000円 当日券:3,000円
(前売り券は前日午前0時まで販売・当日現金でお支払いください)

定員

70名

お問い合わせ

大聖院 寺務所 0829-44-0111

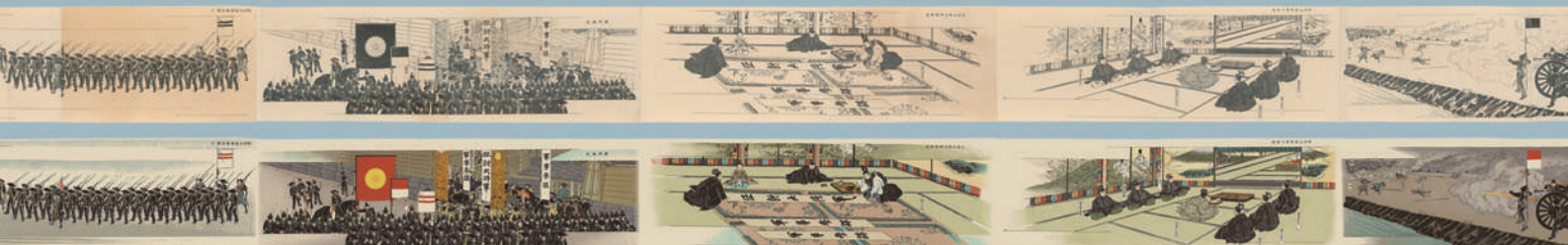
チケット申し込みフォーム

<https://forms.gle/YZhn2wS2ZaT9sZBJ7>



神田京子プロフィール

1999年に二代目神田山陽に入門し、平成26年に真打に昇進。都内寄席や地方公演、海外公演に加え、テレビやラジオにも出演。軽妙な語り口と明るいキャラクターで人気を集め、張り扇を用いた鋭い語りで観衆を物語の世界に引き込む。令和2年に山口県に移住後は、地域の歴史や文化を題材にした自作講談も手がけ、全国を巡る活動を展開。令和3年度には第76回文化庁芸術祭大衆芸能部門優秀賞を受賞し、伝統と革新の両面から日本文化の発展に貢献している。夫は詩人・桑原滝弥で、一児の母。「講談で日本を元気に!!」を掲げ、多岐にわたる活動を続けている。



令和版「戊辰戦争絵巻デジタル彩色版」上下巻

仁和寺に伝わる「戊辰戦争絵巻」上下巻には、戊辰戦争の始まりとなった鳥羽伏見の戦いの詳細が描かれています。三十九場面全てを超高精細スキャニング技術により撮影、さらに歴史資料と専門家の指導に基づきデジタル彩色を行いました。一年余の制作期間を経て完成したデジタル彩色版カラー絵巻を公開いたします。これまでに、横浜、京都、山口、佐賀と全国を巡回展示してきた絵巻がついに宮島に上陸します。

最新のテクノロジーを文化財に活用した特別な展示をぜひお楽しみください。



▲過去のイベントより展示の様子



▼戊辰戦争絵巻上下巻

